



## 湾岸・アラビア半島地域ニュース

### UAE：マスタール・シティの建設着工/ADIC と UBC 子会社によるファンドの設立 (2月12日付現地紙他)

#### 1. マスタール・シティの建設着工

- (1) アブダビで世界発の炭酸ガス排出権ゼロ・廃棄物ゼロ・自動車ゼロ都市となるマスタール・シティ建設の着工記念式典が行なわれた。総事業費は220億米ドルに達する見込み。式典にはムハンマド・アブダビ皇太子のほか多くの王族、閣僚、外交団、ビジネス関係者が参加した。
- (2) スルタン・アル・ジャベル・アブダビ・フューチャー・エナジー社 CEO は、同シティの建設開発の推進力は排出権ビジネスであると述べ、持続可能な輸送手段、廃棄物管理、排水処理、リサイクル、生物多様性、気候変動、再生可能エネルギー、金融機関他様々な分野の専門家の協力を要請することを明らかにした。
- (3) 同シティでは、7万人以上の雇用創出を可能としGDPを2%以上引き上げるだろうと予想されている。また再生可能エネルギー研究に特化した世界初の研究機関としてマスタール工科大学(MIST)を米国MITとの協力のもとで2009年開校する予定。また太陽光発電を積極的に導入し、25年で20億米ドル相当の原油を節約する見込みである。

#### 2. ADIC と UBS 子会社によるファンドの設立

- (1) 世界最大のSWF(注：ソブリン・ウェルス・ファンド/政府が直接的あるいは間接的に運営するファンド)であるアブダビ投資庁(ADIA)から分離したアブダビ投資評議会傘下のアブダビ投資会社(ADIC)は11日にUBS・グローバル・アセット・マネージメントとの間でGCC・北アフリカ及びトルコを対象とした投資ファンドADIC-UBS・インフラストラクチャ・インベストメントを立ち上げた。
- (2) 同ファンドは、ADICとUBS双方が各50%出資、本年6月までに双方が1億ドルを拠出するほか、最終的に投資家等からも資金を募り、最低5億ドルのファンドを立ち上げる。3~4年以内に年間15~20%のIRR(リターン)を見込んでいる。
- (3) キンディ ADIC 会長(アブダビ投資評議会専務理事権アブダビ首長国営銀行会長)は、同ファンドの設立に関する署名の場で、本ファンドの投資対象として中東・北アフリカ地域の電力・ガス分野、交通、公共事業、エネルギー分野に重点を置くほか、既に落札しているヨルダンのクイーン・アリア空港株式、アブダビ内で冷房を供給するTabreed等の資産が同ファンドに移される見込みであること、同地域において今後10年間で5000億ドル相当の投資が行われる見込みであると表明した。

本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799